

授業11-1 類似ビジネスの調査			
ねらい	類似ビジネスや競争環境を踏まえ、自身のビジネスアイデアの強みや差別化ポイントを見付けさせる。	教材	ワークシート 1 枚

展開時間	指導内容	留意事項	
導入 5 分	1 自身のビジネスアイデアを知る。		
	・自身のビジネスアイデアの当てはまるカテゴリーを認識させる。 ・既存商品のカテゴリーや競争環境について、具体例を挙げて説明する。	・1つのカテゴリーに絞らせ、競争環境を限定させるよう、声掛けをする。	
展開 1 20 分	2 [ワーク①] 9 - 1 で考えた商品やサービスの類似品・類似サービスをインターネットで調査しよう。		
	・類似商品の名前、価格、口コミを調査させる。 ・インターネット及び文章生成 A I を活用させて情報を収集させる。 (個人15分)(グループ共有 5 分)	・インターネットの情報から、それぞれの強みや顧客の反応に気付かせる。 ・文章生成 A I の活用において、問い方次第で回答が変わることに気付かせる。	
展開 2 20 分	3 [ワーク②] ワーク①で調べた商品やサービスについて文章生成 A I を活用し「強み」「課題」「売上規模」を調査しよう。		
	・文章生成 A I が回答する範囲を限定させて調査させる。 ・300字程度でまとめさせる。 (個人15分)(グループ共有 5 分)	・文章生成 A I の回答を全て鵜呑みにせず、時には間違った情報が出力される可能性があることに気付かせる。	
展開 3 5 分	4 [ワーク③] 本時の振り返り		
	・本時の気づきを記入させる。 (個人 5 分)	・競争環境を知ることで、自分のビジネスアイデアの改善点や新たな発見が得られることを伝える。	